取扱説明書

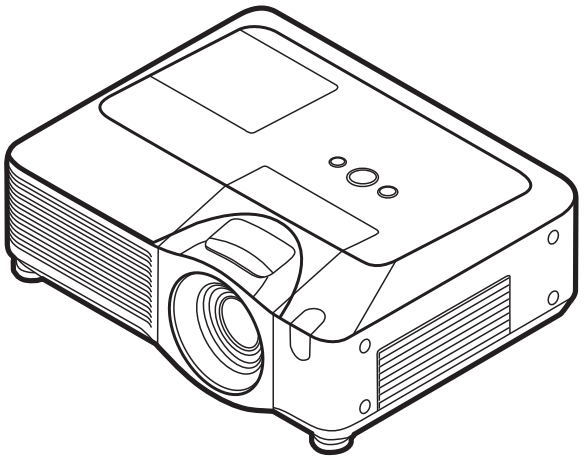
HITACHI
Inspire the Next

# かんたんガイド

## 液晶プロジェクター

**CP-WX625J**

（形名 : CP-WX625）



**このたびは弊社の液晶プロジェクターを
お買い上げいただき、
まことにありがとうございます。**

**最初にお読みください**

本品をより安全に、より有効にご利用いただくため、ご使用の前に、この「かんたんガイド」、および取扱説明書 CD-ROM 内の「取扱説明書 - 詳細版 -」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
本機には保証書が添付されています。内容をご確認のうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。


### はじめにお読みください

▽ 本品をご購入いただいた後、最初にご確認いただきたいことが書いてあります。必ずお読みください。

### 準備と設置

▽ 本機を設置し、電源を入れる前に、リモコンの準備やケーブルの接続を行います。

### 基本操作

▽ 電源を入れた後、映像を投写し、画面の調節を行います。
本機を使い終わりましたら、電源は正しく切ってください。

### 点検とお手入れ

▽ 本機を長くご利用いただくため、ぜひ定期的にご点検やお手入れをお願いします。

### 故障かなと思ったら

▽ 本機を使用中、又は使用する前に困ったことがございましたら、こちらをご確認ください。

### ご参考

# 《本機の特長》

本機には以下のような特長を備えており、幅広い用途でご活用いただけます。

- 本機は、スクリーンまでの距離が短くても、様々な映像を大画面に、かつ低騒音で映し出すことができます。
- 本機は、さまざまなビジネスシーンをカバーする多様な入出力端子を備えています。
- 二重エアーフィルターは頻繁なお手入れの手間を省き、長くご使用いただけます。

# 《取扱説明書について》

本書「かんたんガイド」は、最初に本機をご利用いただくのに便利な、簡易版 取扱説明書です。本機と一緒に保管し、必要なときにご参照ください。
本機の取扱説明書には、さらに、「取扱説明書 - 詳細版 -」を収録した、取扱説明書 CD-ROM をご用意しています。まずは本書をお読みになり、さらに詳しい情報については、「取扱説明書 - 詳細版 -」をご参照ください。取扱説明書 CD-ROM のご使用方法については、「取扱説明書 CD-ROM を使う」(📖31)をご参照ください。
また、「かんたんガイド」、および「取扱説明書 - 詳細版 -」は、日立のホームページ、「サービス＆サポート」欄から、画面表示に従って、簡単にダウンロードしていただけます。

**日立ホームページ URL** http://www.hitachi.co.jp/proj/

**お知らせ**

- 本書では、特に断わりの無い限り、「説明書」はこの製品に付属する全ての文書を意味し、「本品」は付属品を含むこの製品の全てを意味します。
- 本書の内容は、製品の仕様を含め、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の運用結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部、あるいは全部を無断で複写、転載しないでください。

# 《本書の見かた》

以下をご参考に本書をご活用ください。

① 見出し：奇数ページの右端に記載されています。

② **お守りください**：本機、およびその他の周辺機器を安全かつ快適にご使用いただくための情報を記載しています。この表示に従ってください。

③ お知らせ：本機や接続する機器などに関する参考情報を記載しています。

④ 📖：このマークのあとに、ご参照いただきたい記事のページや場所を記載しています。

例）📖**3** ⇒ 本書の 3 ページ（もくじ）をご参照ください。

📖 ***詳細版*** ⇒ 取扱説明書 CD-ROM 内の「取扱説明書 - 詳細版 -」をご参照ください。

# 《もくじ》


**はじめにお読みください・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4～14**
正しくお使いいただくために《必ずお読みください》・・・・・・・・・・・・ 4
（絵表示について、絵表示の意味、使用上のご注意）
付属品を確認してください・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
レンズカバーを取り付ける・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
各部の名称と働き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
（プロジェクター、リモコン）

**準備と設置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15～22**
設置する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
他の機器と接続する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
リモコンを準備する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

**基本操作・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18～22**
電源に接続する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
電源を入れる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
電源を切る・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
傾きを調節する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
ズーム ( 表示倍率 )、フォーカス ( 焦点 ) を調節する・・・・・・・・・・・・20
入力信号を選ぶ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
音声を調節する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
簡単メニューを操作する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22

**点検とお手入れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23～27**
ランプを交換する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
（ランプについてのご注意、ランプの交換方法）
エアーフィルターを掃除／交換する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
その他のお手入れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26
内蔵時計用電池の交換・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27

**故障かなと思ったら・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28～31**
メッセージ表示について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
インジケータ表示について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
故障と間違えやすい現象について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
取扱説明書 CD-ROM を使う・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31

**ご参考・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32～34**
仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
外形寸法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
保証とアフターサービスについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
お客様ご相談窓口・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34


| ⚠ 警告 | ご使用の前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。 |
|---|---|

## 正しくお使いいただくために《必ずお読みください》

この製品をご使用になる前に、必ずこの「正しくお使いいただくために」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。誤ったご使用や通常の範囲を超えるお取扱いによる危害や損害については、いかなる場合も弊社は責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

### ■絵表示について

本書ではこの製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

| ⚠ 警告 |
| --- |
| この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。 |
| ⚠ 注意 |
| この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損傷を発生する可能性があります。 |

### ■絵表示の意味

「注意」を示します。
この記号の後に続けて「気をつけなければならない」ことを記載しています。

「破裂注意」

「感電注意」

「高温注意」

「禁止」を示します。
この記号の後に続けて「してはいけない」ことを記載しています。

「分解禁止」

「水ぬれ禁止」

「ぬれ手禁止」

「強制」を示します。
この記号の後に続けて「必ず行わなければならない」ことを記載しています。

「電源プラグをコンセントから抜け」

「アース線を必ず接続せよ」

| お守りください |
| --- |
| 本機、およびその他の周辺機器を快適にご使用いただくため、この表示に従ってください。 |

## ■使用上のご注意

# ⚠警告

### 異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜け

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
**次のような場合はすぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。**
▶煙が出ている、へんな臭いがする、へんな音がする。
▶内部に異物や液体（金属や水など）が入った。
▶落とした、強い衝撃をあたえた。
▶本機や接続している電源コードやケーブル類に損傷がある。
**電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。**
**お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。**

### 子どもやペットに注意する

誤った取扱いは、**火災、感電、けが、やけど、視力障害など**の原因となります。
子どもやペットが届かないところに設置、あるいは保管してください

### 異物や液体を入れない

火災や感電の原因となります。
ぬれたものや、小さなもの、燃え易いものを本機の近くに置かないでください。
**万一、異物や液体が入ってしまったら、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。**

### ぬらさない

水ぬれ禁止

本機や電源コードなどがぬれると火災や感電の原因となります。
水を掛けたり、水や雨の掛かる場所に置いたりしないでください。

### 不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない、衝撃をあたえない

ぶつけたり落としたりすると**けがや破損、故障**の原因となります。また、そのままご使用になると**火災や感電**の原因となります。
**万一、衝撃をあたえてしまったら、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。**
▶移動するときはコード、ケーブルを外し、レンズカバーを取り付けてください。
▶設置器具は指定品をご使用になり、天吊り（天井設置）などの特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。
▶アジャスタ脚の調節（📖20）以外は傾けて設置しないでください。
▶底面以外を下にして置かないでください。

### 高温に注意する

高温注意

本機の使用中、排気口や排気口から出る空気、ランプカバーは高温になり、**やけどや火災**の原因となります。
使用中や使用後しばらく、排気口やランプカバーには、近づいたり触れたり、近くにものを置いたりしないでください。
▶熱の伝わり易いものや燃え易いもの、熱に弱いものの近くで本機を使用しないでください。

# ⚠ 警告

## 分解しない、改造しない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、**火災や感電**の原因となります。
▶本機のキャビネットや付属品のケースは、本書に記載のある場合を除き、開けないでください。
▶内部の点検、調整、修理、お手入れは販売店にご依頼ください。

## レンズをのぞかない

本機の使用中は、レンズから強い光が出ます。**視覚障害など**の原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

## 電源コードや電源アダプタ、信号ケーブルやコネクタは所定のものを使用する

仕様の合わない電源コードや信号ケーブルを使用すると、**火災や感電、故障や電波妨害**の原因となります。
本機に同梱されているものは、傷や破損が無いことをご確認のうえ、必ず同梱品をご使用ください。同梱品以外の接続ケーブルやコネクタは、販売店にご相談のうえ適切なものをご使用ください。

## 電源プラグは付着物をふき取って使用する

本機の AC IN（電源端子）や電源コード、電源アダプタのプラグ（刃）部分やその周辺に、ほこりや金属類などが付着していると、**火災や感電**の原因となります。

## 電源プラグは、指定（本体に表示）の電源電圧のコンセントに、根元まで確実に差し込んで使用する

電源の接続が不完全の場合、感電の原因となったり、**発熱して火災**の原因となります。
また、指定の電圧以外でのご使用は、**火災や感電**の原因となります。
必ず、**交流 100V のコンセントに接続してご使用ください。**
▶ゆるみやがたつきのあるコンセントは使用しないでください。

## アース線を必ず接続する

アース線を
必ず接続せよ

アース線、接地端子を接地しないと、**火災や感電、電波妨害**の原因となります。また、アース線をコンセントに差し込むと、**火災や感電**の原因となります。
アース線は、本書の「電源に接続する」（📖18）に従って、正しく接続してください。

## 電源コードや電源アダプタ、信号ケーブルやコネクタを傷つけない

損傷のある電源コードや電源アダプタ、信号ケーブルなどを使用すると、火災や感電の原因となります。
傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。

## ぬれた手で電源コードや電源アダプタを取り扱わない

ぬれ手禁止

**感電**の原因となります。

# ⚠ 警告

## お手入れするときは電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜け

電源プラグを接続したままでお手入れすると、**火災や感電の**原因となります。
お手入れするときは、電源を切り、電源プラグを抜いてください。
必ず本書の「点検とお手入れ」（📖23 ～ 27）をお読みになり、正しくお手入れしてください。

## 排気口に顔を近づけない

ランプが破裂した場合に、水銀を含むガスや、微細なガラスを含む粉じんが出るとけがの原因となります。**万一、目や鼻、口に入った場合は、すぐに医師の診察を受けてください。**

## ランプの取扱いに注意する

本機は、寿命のあるガラス製の高圧水銀ランプを使用しています。ランプの取扱いを誤ると、**やけど**の原因となったり、**破裂してけが**などの原因となります。

破裂注意

**万一、破裂した場合（破裂音がします）は、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。排気口などから水銀を含むガスや、微細なガラスを含む粉じんが出ることがあります。十分換気し、吸い込んだり、目や口に入らないようにご注意ください。万一、目や鼻、口に入った場合は、すぐに医師の診察を受けてください。**内部にはガラス片が散乱しているおそれがありますので、ランプカバーを開けずに販売店へご連絡ください。

高温注意

使用中や使用後、ランプとその周辺は高温となり火傷の原因となります。ランプの交換は電源を切ってプラグを抜き、45 分以上放置して冷ましてから行ってください。
本書の「ランプについてのご注意」（📖23）、「ランプの交換方法」（📖24）をお読みになり、指定のランプを正しくご使用ください。本機の仕様に合わないランプを使用すると、火災や故障の原因となったり、本機の寿命を縮める原因となることがあります。

▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。

## 電池の取扱いに注意する

電池の取扱いを誤ると、**破裂や発火、液漏れ**などして、**火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染**の原因となります。また電池は小さいので**お子様やペットが飲み込む**おそれがあります。

破裂注意

**万一、飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。**
**液漏れしたときは、すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。漏れ液が皮膚や衣服に着いた場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。目などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。**

▶交換するときは指定のタイプ（📖17,27）の新しい（未使用）電池を使用してください。
▶火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。
▶子どもやペットが届かないところに保管してください。
▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。

# ⚠注意

## 重い物を載せたりぶら下げたりしない

不安定になって落ちたり倒れたりすると**けがや破損、故障**の原因となったり、そのまま使用すると**火災や感電**の原因となることがあります。

▶本書に指定のある場合や所定の別売品（販売店にお尋ねください）以外は、本機に取り付けたりぶら下げたりしないでください。

## 高温になるところに置かない、吸気口、排気口をふさがない

高温になるところに置いたり、通風が正常に行われないと、内部温度が上がり過ぎ、本機の**電源が自動的に切れたり、火災や故障**の原因となることがあります。また、熱や温風を当てると**キャビネットなどが傷む原因**となることがあります。

▶本機は、風通しの良いところに、周辺の壁や物から 30cm 以上離して設置してください。
▶熱源の近くや直射日光、温風が当たるところには置かないでください。
▶本機や付属品を電子レンジに入れないでください。
▶通風口をふさいだり、近くに物を置いたりしないでください。
▶布団やカーペット上に置いたり、布などを被せたりしないでください。

## 湿気、ほこりの多いところ、煙や油煙の当たるところ、塩害のおそれのあるところに置かない

内部にほこりなどがたまると、火災や感電の原因となったり、**故障や映像不良**の原因となることがあります。湿気やほこりの多いところには置かないでください。

▶本機や付属品を、屋外に置かないでください。

## 取扱説明書 CD-ROM は、パソコンの CD ドライブで使用する。

取扱説明書 CD-ROM を CD プレーヤなどで再生すると、突然大きな音が出て、**聴力障害**やご使用のスピーカーの破損の原因となることがあります。
必ずパソコンの CD ドライブで使用してください。

## CD-ROM の取り扱いに注意する

取扱説明書 CD-ROM は、ケースに入れて大切に保管してください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。

## 磁気を発生するものを近づけない

本機に磁気を近づけたり、磁気を発生するものの近くに置いたりすると、冷却ファンが止まったり回転速度に異常を生じることがあります。内部温度が上がり過ぎると、**本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障**の原因となることがあります。

▶付属品、本書に示される指定品を除き、磁気シールドが施されていない磁気製品（磁気による盗難防止装置など）を本機に使用したり近づけたりしないでください。

## 使用しないときは電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜け

**本機の電源を完全に切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください**。電源プラグを接続したまま放置すると、火災などの原因となることがあります。

# ⚠注意

### 落雷のおそれがあるときは使用しない

落雷があった時に本機を使用していると、**火災や感電**の原因となることがあります。
落雷のおそれがあるときは、使用を中止し、電源プラグを抜いてください

### 年に一度は内部のお手入れを販売店に依頼する

内部にほこりなどがたまると、**火災や感電**の原因となったり、**故障や映像不良**の原因となることがあります。
年に一度は、内部の点検と掃除を販売店にご依頼ください。お客様による内部のお手入れは危険ですので、絶対におやめください。

### フィルターユニットを定期的にお手入れする

フィルターユニットがほこりなどで詰まったり正しく取り付けられていなかったりすると、内部温度が上がり過ぎて、**本機の電源が自動的に切れたり、やけどや火災、故障**の原因となることがあります。

▶必ず本書の「エアーフィルターを掃除／交換する」（📖25,26）をお読みになり、指定のエアーフィルターを正しくご使用ください。
▶エアーフィルターやフィルターカバーを外した状態では使用しないでください。

### 本機のランプ点灯中に映像を消すには、指定の方法を使用する

本機のランプが点灯中に映像を消したい場合には、ブランク機能（📖14）を使用してください。レンズの前に物を置いたり、レンズに紙や布などを貼ったりすると、**レンズを損傷**するおそれがありますので、おやめください。

# お守りください

### 長時間見るときは、ときどき目を休めてください

長時間連続して画面を見ると目が疲れます。
ときどき画面から離れて目を休めてください。

### レンズを傷つけないでください

破損や故障の原因となったり、映像不良の原因となることがあります。

▶本機を使用しないときはレンズカバーを取り付けてください。
▶レンズに硬いものを当てたり、こすったりしないでください。
▶レンズのお手入れに掃除機を使用しないでください。
▶お手入れは市販のレンズクリーニングペーパー（カメラや眼鏡の清掃用）などを使ってください。（📖26）

### レンズに直接手を触れないでください

レンズがくもったり、汚れたりすると、映像不良の原因となることがあります。

### キャビネットやリモコンの取扱い、お手入れについて

取扱いやお手入れの方法を誤ると、表面が変質したり塗装がはがれることがあります。特に、レンズには、**破損や故障**の原因となることがあります。お手入れは正しい方法（📖26）で行ってください。

▶揮発性の薬品や、溶剤、研磨剤、およびスプレーなどは使用しないでください。
▶ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。
▶化学雑きんなどのご使用については、その注意書に従ってください。

### 梱包材は大切に保管してください

修理や引越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。特にレンズ周りの梱包にはご注意ください。

## お知らせ

**●寿命部品について**

光学部品（ランプ、液晶パネル、偏光板、PBS（Polarized Beam Splitter）、コントラストアップフィルム）および冷却ファンは寿命部品です。長時間お使いになると修理交換が必要になります。

▶本機は長時間連続使用を想定して設計されたものではありません。毎日 6 時間以上ご使用になる場合は、1 年未満でも寿命部品の交換が必要になることがあります。また 6 時間以上の連続使用や、短時間でも繰り返しご使用になったりすると、寿命部品の交換サイクルは早くなります。

▶本機を傾けて使用すると、部品の寿命を縮めることがあります。アジャスタ脚の調節範囲以外は傾けて使用しないでください。

▶電源を頻繁に入れたり切ったりすると、部品の寿命を縮めることがあります。

**●映像特性について**

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。投写面（スクリーンや壁面など）の特性により、映像の色あいやコントラストが、テレビやパソコンのモニターとは異なることがありますが、故障ではありません。

▶偏光スクリーンでは画面が赤味を帯びて見える場合があります。ご使用にならないでください。

▶スクリーンの織目と液晶画素の干渉縞 ( モアレ）が発生する場合があります。故障ではありません。モアレ発生を抑えたスクリーンをご使用ください。

**●液晶パネルの焼きつきについて**

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。静止画像や動きの少ない映像、液晶パネルの仕様と縦横比が異なる映像などを、長時間または繰り返し投映すると、液晶パネルが焼きついて、その映像が残像として残ることがありますが、液晶特有の現象であり、故障ではありません。

**●輝点、黒点について**

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。画面上に輝点（光ったままの点）や黒点（光らない点）が見られることがありますが、液晶特有の現象であり、故障ではありません。

**●結露にご注意ください**

本機を、低温の室外から高温の室内に持ち込んだ場合など、本機の内部の投写レンズに結露が生じ、映像がぼやけたり、見えなくなったりすることがありますが、故障ではありません。
本機が周囲の温度に慣れるに従って露が消え、映像は正常にもどります。

**●冷却ファンの騒音について**

本機は、使用環境に合わせて冷却ファンの回転速度を制御する機能を備えています。周囲の温度が高いと冷却ファンの回転速度も速くなり、騒音も大きくなります。

**●セキュリティ・スロット／バーについて**

本機のセキュリティ・スロットおよびセキュリティ・バーは盗難を完全に防ぐものではありません。盗難防止対策のひとつとしてご使用ください。

**●この製品（付属品を含む）は日本国内でのみ、ご使用になれます。**

日本国外ではご使用にならないでください。また、この製品の保証書は日本国内でのみ、有効です。
This product (including the accessories) is designed for use in Japan only, and cannot be used in any other countries. The warranty appended to this product is void out of Japan.

**●電源高調波について**

JIS C 61000-3-2 適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性 - 第 3-2 部：限度値 - 高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

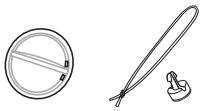
## 付属品を確認してください

この製品にはプロジェクター本体（本機）の他に、以下のものが含まれています。万一不足しているものがあれば、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

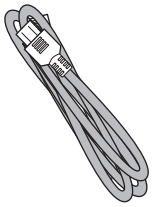
**リモコン**

**単３型乾電池× ２個**
（リモコン用）

**レンズカバー 、ひも、留め具**（レンズカバー取付け用）
レンズを保護するカバーです。
下記のように本体に取り付けて
ご使用ください



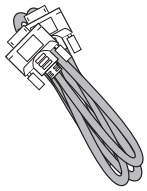
**電源コード**



**電源アダプタ**

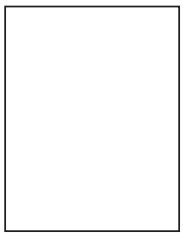
電源コードと
二つ穴コンセント
をつなげる
アダプタです。

**RGB 信号ケーブル**



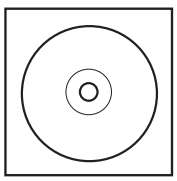
パソコンの映像信号を
本機に入力するための
ケーブルです。

**かんたんガイド（本書）**



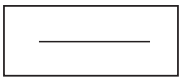
最初に本機をご利用いただくのに
便利な、簡易版 取扱説明書です。
本機と一緒に保管し、
必要なときにご参照ください。

**取扱説明書 CD-ROM**



「取扱説明書 - 詳細版 -」
が収録されています。

**保証書**



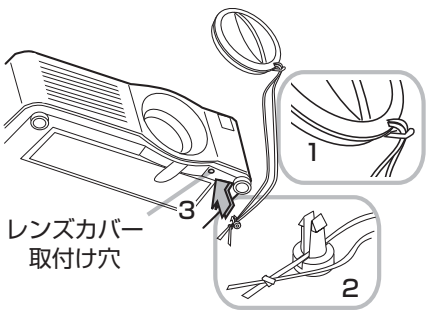
お買い上げの販売店名、
お買い上げ日をお確かめのうえ、
大切に保管してください。

## お守りください

●梱包材は大切に保管してください。
修理や引越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。特にレンズ周りの梱包にはご注意ください。

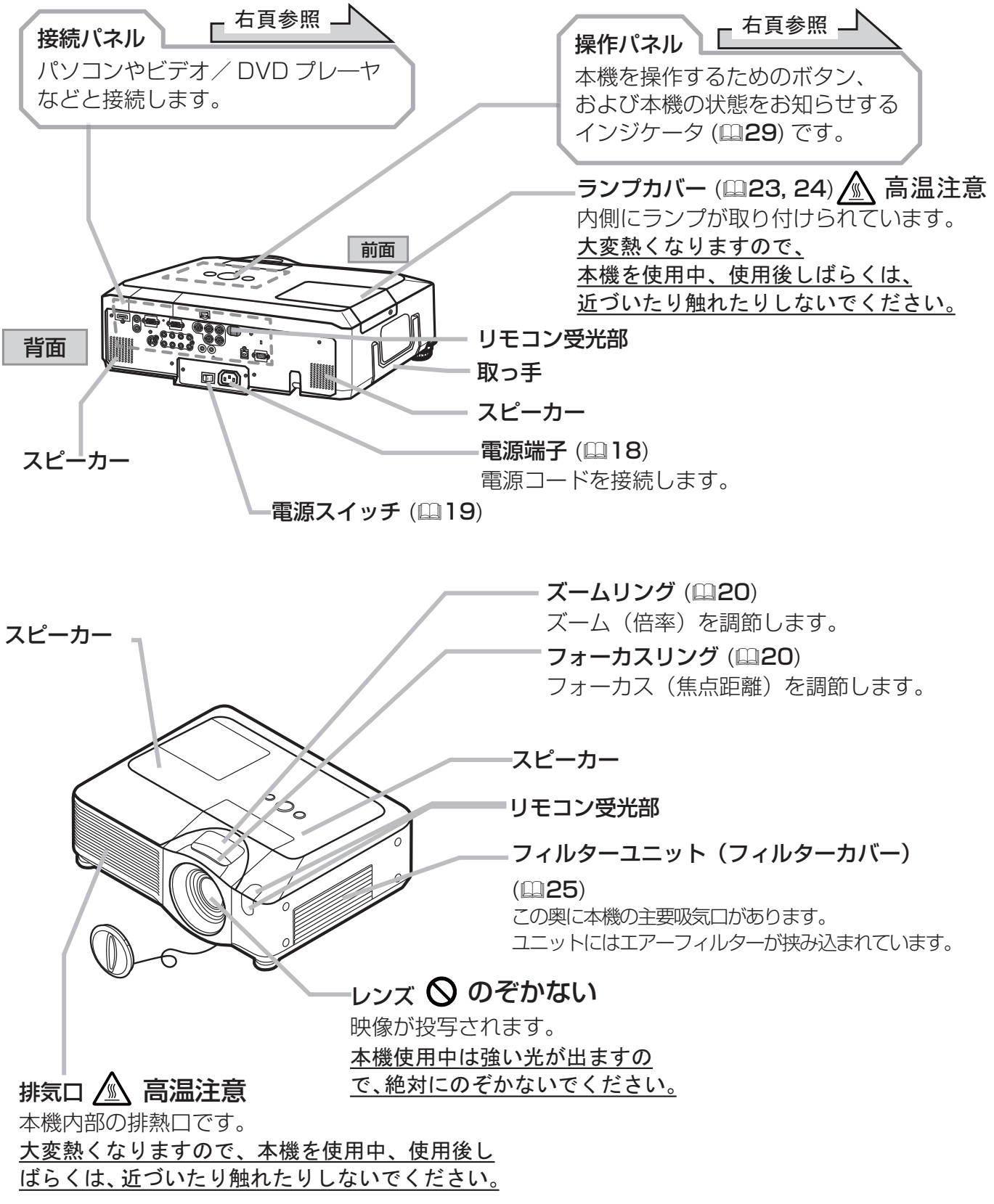
## レンズカバーを取り付ける

紛失防止のため、レンズカバーは本体に取り付けてご使用ください。
1．ひもをレンズカバーに取り付ける。
2．ひもの１本を、留め具の溝にはさみ込む。
3．本体底面のレンズカバー取付け穴に、留め具を押し込んで留める。

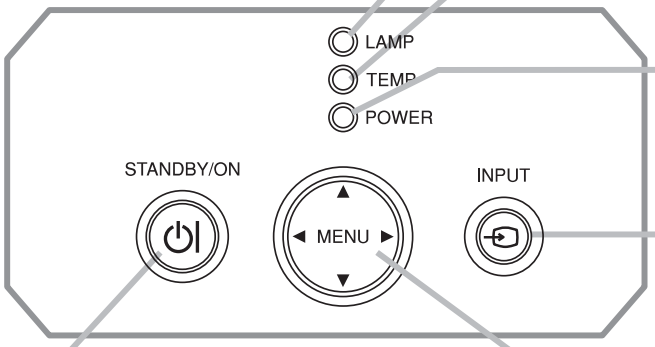


# 各部の名称と働き

## ■プロジェクター（本機）



## 操作パネル




**LAMP インジケータ** (📖29)
本機のランプの状態についてお知らせします。

**TEMP インジケータ** (📖29)　本機内部の温度状態についてお知らせします。

**POWER インジケータ** (📖19, 29)
本機のパワーの状態をお知らせします。

**INPUT ボタン** (📖21)
映像信号を切り替えます。

**STNDBY/ON ボタン** (📖19)
ランプの点灯 / 消灯（スタンバイ）を切り替えます。

**MENU ボタン（▲/▼/◀/► カーソルボタン）** (📖22)
メニュー画面を表示します。（メニューを操作します。）

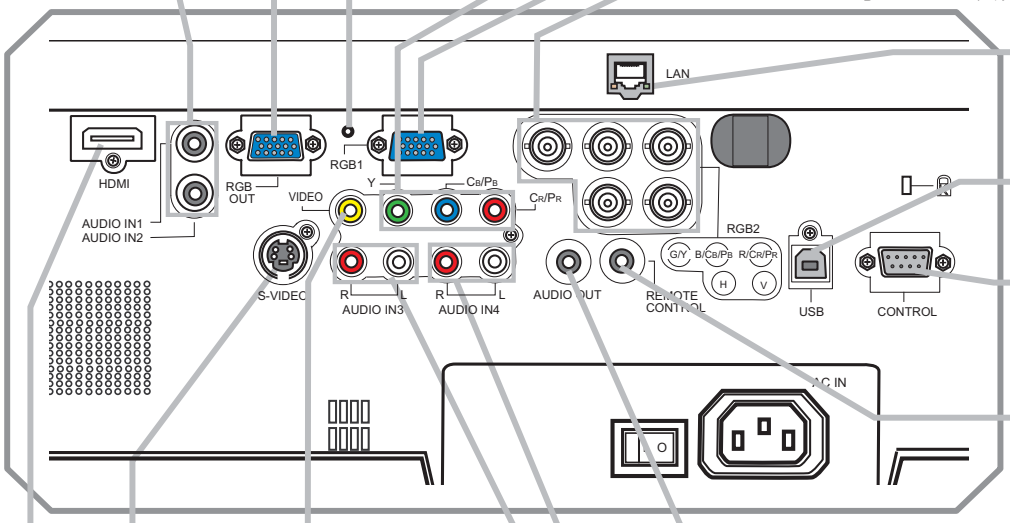
## 接続パネル

**RGB OUT 端子**
映像信号の出力端子です。

**シャットダウンスイッチ**（📖20）
本機を強制終了するためのスイッチです。

**AUDIO IN1 端子**
**AUDIO IN2 端子**
音声信号の入力端子です。

**COMPONENT（Y, CB/PB, CR/PR）端子**
**RGB1 端子**
**RGB2(G/Y,B/ $C_B/P_B$, R/$C_R/P_R$、H,V) 端子**
パソコン等からの映像信号の入力端子です。




**LAN 端子**
ネットワークへの接続端子です。

**USB 端子**

**CONTROL 端子**
パソコン等から制御する端子です。

**REMOTE　CONTROL 端子**
有線リモコンとして使用するときの端子です。

**AUDIO OUT 端子**
音声信号の出力端子です。

**S-VIDEO 端子　VIDEO 端子**
ビデオ／ DVD プレーヤなどからの映像信号の入力端子です。

**AUDIO IN4（R,L）端子**
**AUDIO IN3（R,L）端子**
音声信号の入力端子です。

**HDMI 端子**　デジタル映像／音声信号の入力端子です。

## ■リモコン

レーザー射出口をのぞかない。人やペットに向けない

**レーザー射出口**

**STANDBY/ON ボタン** (📖19)
ランプの点灯 / 消灯（スタンバイ）を切り替えます。

**BLANK ボタン**
一時的に表示画面を消したいときに使用します。

**マウス左ボタン**

**マウス右ボタン**

**ASPECT ボタン**
表示画面の縦横比を切り替えます。

**レバースイッチ** (📖22)
▲へ倒すと▲（上）カーソルボタン、
▼へ倒すと▼（下）カーソルボタン、
押下すると ENTER ボタンとして機能します。

**◀（左）カーソルボタン** (📖22)

**メニューボタン** (📖22)
メニュー画面を表示します。

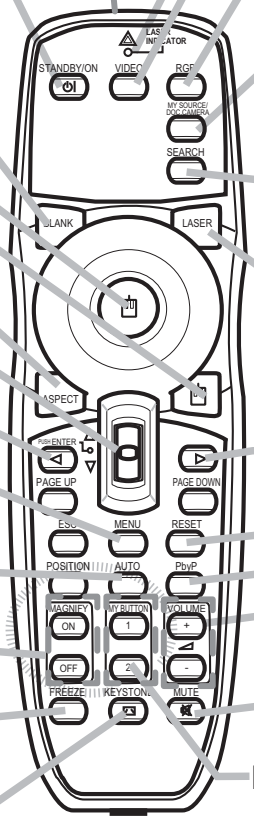
**AUTO ボタン**
画面の自動調整を実行します。

**MAGNIFY - ON/OFF ボタン**
表示画面の拡大 / 解除を行います。

**FREEZE ボタン**
表示画面の静止／解除を行います。

**KEYSTONE ボタン**
キーストン（台形歪み）調節を行います。

前面




**LASER インジケータ** (📖17)

**VIDEO ボタン** (📖21)
VIDEO 端子、S-VIDEO 端子からの映像信号を選択します。

**RGB ボタン** (📖21)
RGB1 端子、HDMI 端子などからの映像信号を選択します。

**MY SOURCE / DOC. CAMERA ボタン** (📖 ***詳細版***)
このボタンに登録した端子からの映像信号を選択します。

**SEARCH ボタン** (📖21)
本機に入力されている映像信号を検索します。

**LASER ボタン** (📖17)
LASER ボタンを押すとレーザー射出口からレーザー光が出て LASER インジケータが点灯します。

**▶（右）カーソルボタン** (📖22)

**RESET ボタン** (📖22)

**PbyP ボタン**

**VOLUM ＋／－ ボタン** (📖22)
音量を調節します。

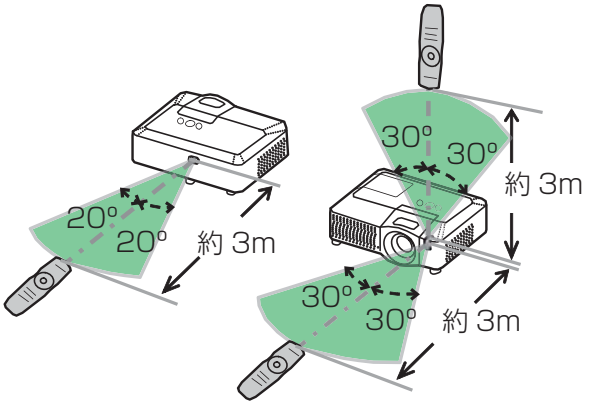
**MUTE ボタン** (📖22)
音声をオン／オフします。

**MY BUTTON-1/2**
「その他」メニューの「マイボタン」で、各々の機能を選択、設定できます。

## ⚠ 警告

**●レーザー光を目にあてない、スクリーン以外には向けない**
レーザー光は目に当たると視覚障害の原因となるなど、有害となる可能性がありますので、スクリーンに向けて指し棒の代わりにご使用になる以外には用いないでください。レーザー光を直接見たり、他の人やペットに向けたりしないでください。お子様にはリモコンを使わせないでください。

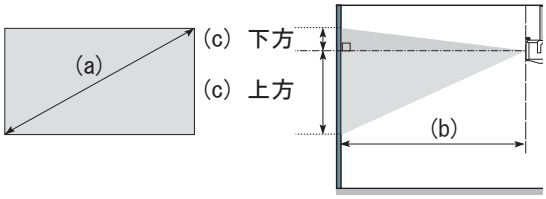
**リモコン信号について**
付属のリモコンは、本機のリモコン受光部に信号を送って機能します。リモコン信号は、受光部への入射角度左右に各 30°、距離約 3 mの範囲で有効です。リモコン信号は、スクリーンなどに反射させて操作できる場合もあります。（反射面によっては反射できない場合もあります。）



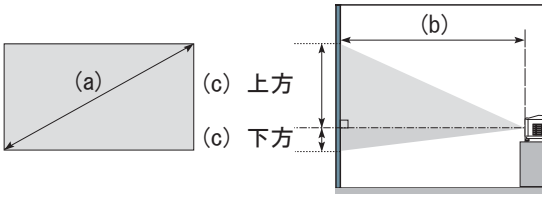
## 設置する

⇒ *本機を設置する*前に、必ず「使用上のご注意」(📖5 ～ 10) を確認し、設置方法と位置を決めてください。

**天吊りで** ※天吊りなどの特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。




**台や棚の上に置いて**




本機とスクリーンの距離については下表をご参照ください。
下表の数値はフルスクリーン（1280 × 800）の場合の参考値（± 10%）です。

| (a) 画面サイズ (対角寸法) | | 16：10 画面 | | | | | | | | 4：3 画面 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | (b) 投写距離 | | | | (c) スクリーンの高さ | | | | (b) 投写距離 | | | | (c) スクリーンの高さ | | | |
| | | 最小 | | 最大 | | 下方 | | 上方 | | 最小 | | 最大 | | 下方 | | 上方 | |
| 型 インチ | m | m | インチ | m | インチ | cm | インチ | cm | インチ | m | インチ | m | インチ | cm | インチ | cm | インチ |
| 30 | 0.8 | 0.9 | 36 | 1.1 | 44 | 0 | 0 | 40 | 16 | 1.0 | 41 | 1.3 | 50 | 0 | 0 | 46 | 18 |
| 40 | 1.0 | 1.2 | 49 | 1.5 | 59 | 0 | 0 | 54 | 21 | 1.4 | 56 | 1.7 | 67 | 0 | 0 | 61 | 24 |
| 60 | 1.5 | 1.9 | 74 | 2.3 | 90 | 0 | 0 | 81 | 32 | 2.1 | 84 | 2.6 | 102 | 0 | 0 | 91 | 36 |
| 70 | 1.8 | 2.2 | 87 | 2.7 | 105 | 0 | 0 | 94 | 37 | 2.5 | 99 | 3.0 | 119 | 0 | 0 | 107 | 42 |
| 80 | 2.0 | 2.5 | 100 | 3.1 | 120 | 0 | 0 | 108 | 42 | 2.9 | 113 | 3.5 | 136 | 0 | 0 | 122 | 48 |
| 90 | 2.3 | 2.9 | 112 | 3.4 | 135 | 0 | 0 | 121 | 48 | 3.2 | 127 | 3.9 | 153 | 0 | 0 | 137 | 54 |
| 100 | 2.5 | 3.2 | 125 | 3.8 | 151 | 0 | 0 | 135 | 53 | 3.6 | 142 | 4.3 | 171 | 0 | 0 | 152 | 60 |
| 120 | 3.0 | 3.8 | 150 | 4.6 | 181 | 0 | 0 | 162 | 64 | 4.3 | 170 | 5.2 | 205 | 0 | 0 | 183 | 72 |
| 150 | 3.8 | 4.8 | 188 | 5.8 | 227 | 0 | 0 | 202 | 79 | 5.4 | 213 | 6.5 | 257 | 0 | 0 | 229 | 90 |
| 200 | 5.1 | 6.4 | 252 | 7.7 | 303 | 0 | 0 | 269 | 106 | 7.2 | 285 | 8.7 | 343 | 0 | 0 | 305 | 120 |
| 250 | 6.4 | 8.0 | 315 | 9.6 | 379 | 0 | 0 | 337 | 132 | 9.1 | 357 | 10.9 | 429 | 0 | 0 | 381 | 150 |
| 300 | 7.6 | 9.6 | 378 | 11.6 | 455 | 0 | 0 | 404 | 159 | 10.9 | 428 | 13.1 | 515 | 0 | 0 | 457 | 180 |
| 350 | 8.9 | 11.2 | 442 | 13.5 | 531 | 0 | 0 | 471 | 185 | 12.7 | 500 | 15.3 | 602 | 0 | 0 | 533 | 210 |

## お守りください

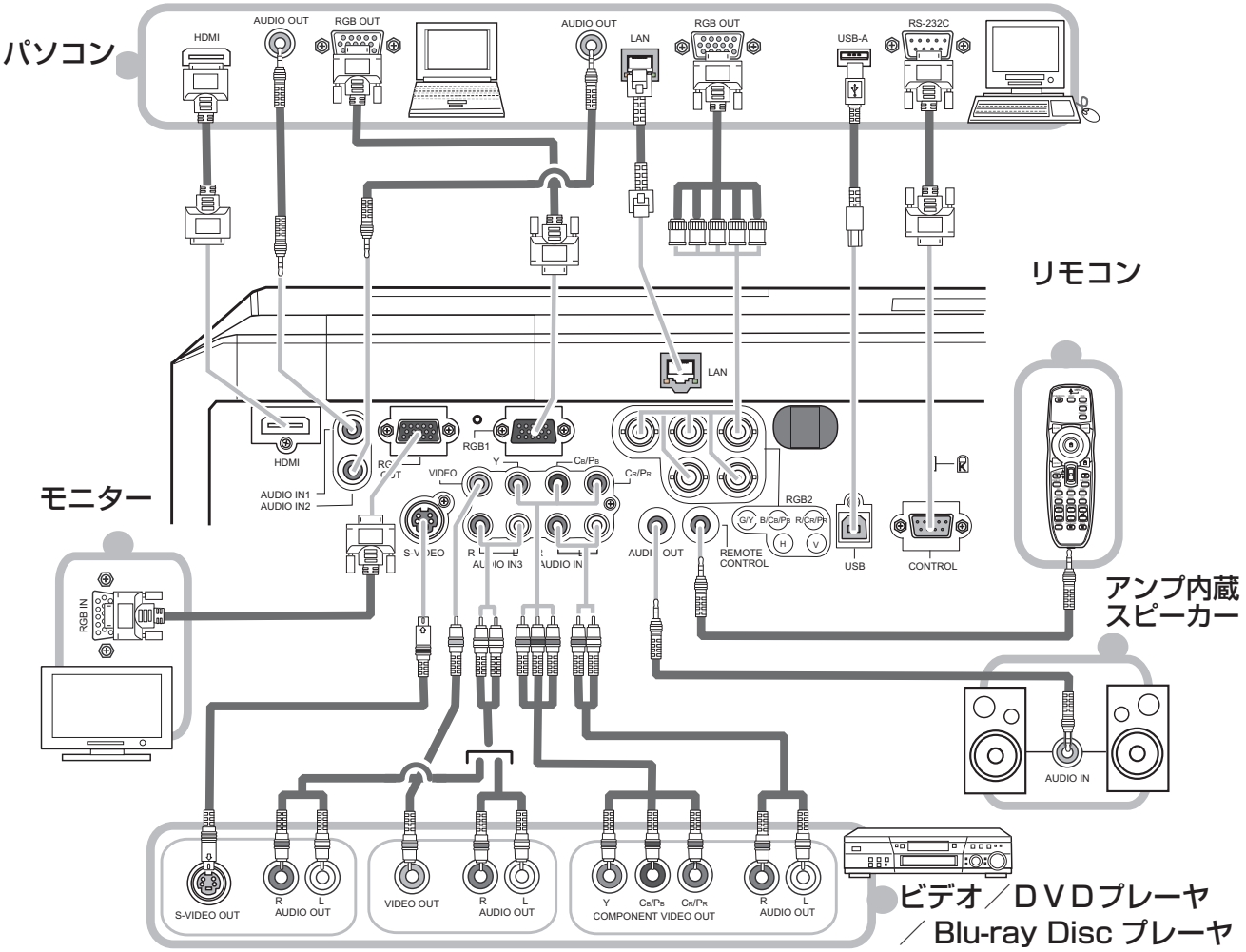
- ●キャスター（車）付きの台に載せる場合は、必ずキャスター止めをしてください。
- ●本機と壁などとのスペースを 30cm 以上とってください。
- ●本機とスクリーンとの間に障害物がないことをよく確認してください。
- ●設置器具は指定品をご使用になり、天吊り（天井設置）などの特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。
- ●セキュリティ・スロット／バーを落下防止用に使用しないでください。
- ●光源や直射日光などの強い光、また、電波を発生するものを避けて設置してください。

**お知らせ**

- ●天吊り設置にすると、本機はプラスチック製のため、映像表示位置が変わることがあります。再設定が必要な場合は、販売店または業者にお問い合わせください。
- ●リモコン受光部に蛍光灯などの不要な光が入ると、リモコンが正常に動作しないことがあります。この場合には本機の位置を調節してください。

## 他の機器と接続する

接続の前に、本機と接続してご使用になる機器の説明書をよくお読みください。信号によっては、特定のアダプタが必要な場合や、本機では正しく表示できない場合があります。解像度などの仕様が本機に合うことを確認し、必要な信号ケーブルやアダプタを準備してください。本機の端子形状は「入出力信号端子について」（📖 **詳細版**）をご覧ください。接続は、本機および接続する機器の電源が切れていることを確認し、下図をご参考に行ってください。




## お守りください

- ●接続はコネクタの形状や向きを確かめながら、正しく行ってください。固定ネジがあるものはネジをきちんと締めて固定してください。
- ● LAN 端子への接続は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。過度の電圧を生じる可能性があるネットワークには、安全のため、LAN 端子に接続しないでください。

### お知らせ

- ●本機は VESA DDC 2B に対応しています。本機を VESA DDC（Display Data Channel）対応のパソコンに接続してご使用になると、プラグ & プレイを実現できます。ただし、接続するパソコンによってはプラグ＆プレイが動作しない場合があります。
- ●ノートパソコンや、ディスプレイ一体型パソコンなどからの映像信号を本機に入力するには、RGB 外部映像出力を有効にしてください。詳しくはご使用になるパソコンの説明書をご覧ください。

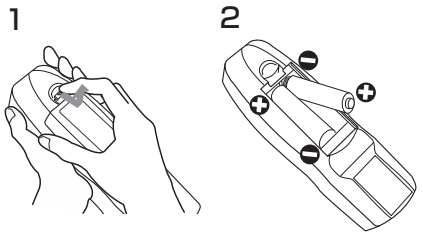
# リモコンを準備する

## 電池を入れる

付属のリモコンは単３型乾電池２本を使用します。ご使用の前に電池をリモコンに入れてください。
電池は必ず下記のものをご使用ください。

**付属リモコン用電池：日立マクセル製　型名：LR6 または R6P**

1．リモコンを図のように持って、電池カバーのつまみを軽く手前に引きながら電池カバーを外してください。
2．リモコンの中に表示された極性表示（⊕、⊖）を確認し、電池の向きを合わせて入れてください。
3．電池カバーをもとのように閉じてください。




### ⚠ 警告

**●電池の取扱いに注意する**

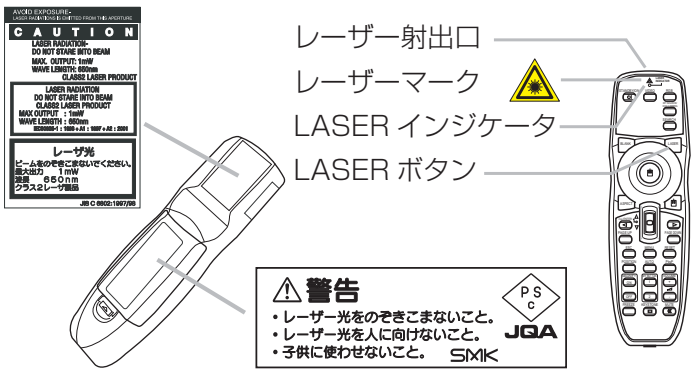
取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。万一、電池を飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。
液漏れしたときは、すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。
漏れ液が皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。目などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。

破裂注意

▶交換するときは、新しい（未使用の）日立マクセル製　型名：LR6 または R6P の単３型乾電池２本を使用してください。種類や銘柄の異なる電池を一緒に使用したり、古い（使用した）電池と新しい電池を一緒に使用しないでください。傷のある電池は使用しないでください。電池は、電池ケースの極性表示（⊕、⊖）に従って正しく入れてください。
▶リモコンを長時間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出して保管してください。
▶火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。子どもやペットが届かないところに保管してください。
▶衝撃をあたえないでください。投げたり落としたりしないでください。
▶充電、短絡、分解、加工、はんだ付けなどしないでください。電池の電極部に金属を接触させないでください。ピンセットなどの金属製の物で持たないでください。
▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。

## レーザーポインタについて

リモコンの LASER ボタンを押すと、リモコンの先端にある射出口からレーザー光が出ます。スクリーンに向けて指し棒の代わりにご使用ください。
レーザー光は LASER ボタンを押している間放射され、ボタンを放すと消えます。レーザー光が出ているあいだは LASER インジケータが点灯します。




### ⚠ 警告

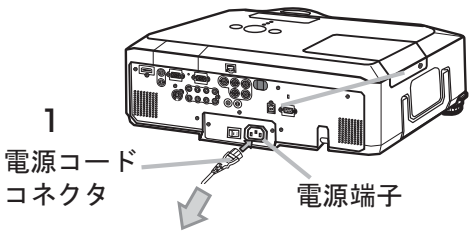
**●レーザー光を目にあてない、スクリーン以外には向けない**

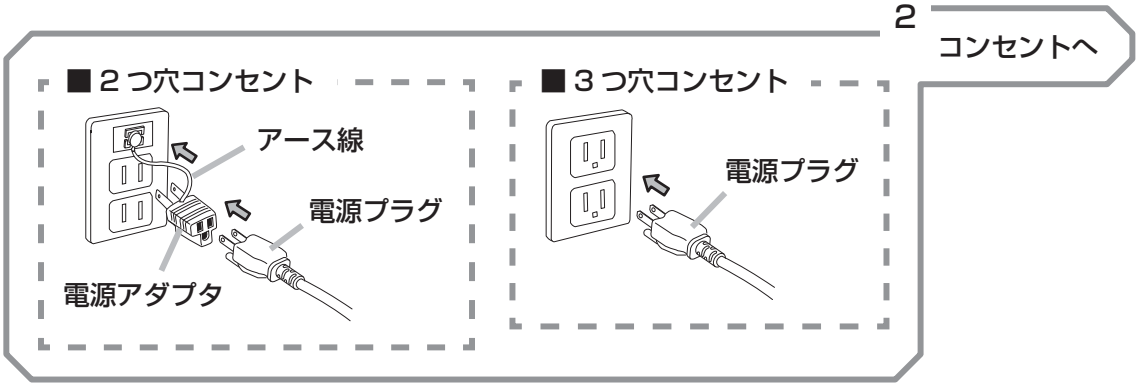
レーザー光は目に当たると視覚障害の原因となるなど、有害となる可能性がありますので、スクリーンに向けて指し棒の代わりにご使用になる以外には使用しないでください。レーザー光を直接見たり、他の人やペットに向けたりしないでください。お子様にはリモコンを使わせないでください。

## 電源に接続する

⇒ 本機を電源に接続する前に、必ず「使用上のご注意」(📖5 ～ 10) をご確認ください。

1. 電源コードのコネクタ側を本機の AC IN に接続してください。
2. **■ 3 つ穴コンセントをご使用のとき**
   電源プラグをコンセントに接続してください。
   **■ 2 つ穴コンセントをご使用のとき**
   電源アダプタのアース線をコンセントのアース端子に接続してから、電源アダプタをコンセントに接続してください。その後、電源プラグを電源アダプタに接続してください。



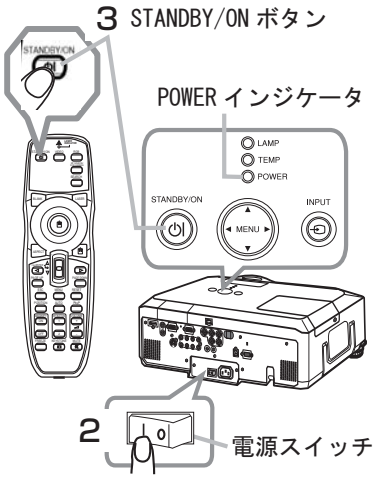

## お守りください

- ●ゆるみやがたつきのあるコンセントは使用しないでください。
- ● 2 つ穴コンセントを使用する場合は、付属の電源アダプタをご使用になり、必ずアース線を接続してください。
- ●アース線は、電源アダプタをコンセントに差し込む前に接続してください。アース線を外すときは、先に電源アダプタをコンセントから抜いてください。
- ●接続している他の機器（パソコンやビデオなど）のトラブルを防ぐため、他の機器の電源が切れている状態で本機を電源に接続してください。

**お知らせ**

- ●「その他」メニューで「オートオン」(📖 詳細版）を「有効」に設定している場合、電源スイッチを入れた（「｜」と表示されている側が押されている）まま電源プラグを接続すると、自動的に本機の電源が入ることがあります。電源コードを接続する前に、本機の電源スイッチが切れている（「○」と表示されている側が押されている）ことを確認してください。また、トラブルを防ぐため、電源を切るときは所定の手順に従ってください。

## 電源を入れる



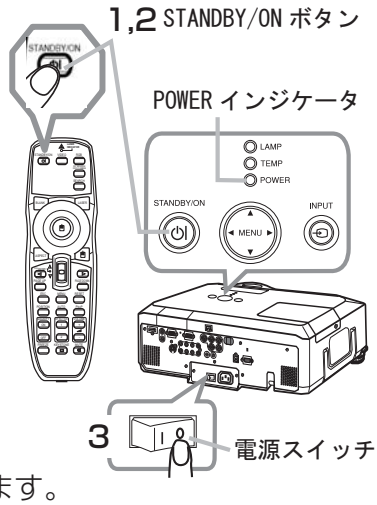

1．電源コードが正しく接続されていることを確認し、レンズカバーを外してください。
2．電源スイッチの「I」と表示されている側を押してください。本機がスタンバイ状態となり、POWER インジケータが橙色に点灯します。この直後は、リモコンや操作パネルのボタンが効かないことがありますので、数秒お待ちください。
3．リモコンまたは操作パネルの STANDBY/ON ボタンを押してください。ランプが点灯、ウォームアップを開始し、POWER インジケータが緑色に点滅を始めます。

投写ランプが点灯すると、POWER インジケータは点滅をやめ、緑色に点灯します。
絶対にレンズや投写光をのぞかないでください。

**お知らせ**

●「その他」メニューの「オートオン」（📖 詳細版）を「有効」に設定している場合、電源を入れる操作を行わなくても自動的に本機の電源が入ることがあります。

## 電源を切る




本機は、以下の手順を踏まなくても、電源スイッチやテーブルタップのスイッチ、ブレーカーをご使用になって電源を切ることができます。ただし、使用中に電源プラグ、電源コードを抜くと故障の原因となりますので以下に従い、冷却中または冷却完了後に抜いてください。

1．リモコンまたは操作パネルの STANDBY/ON ボタンを押してください。「電源を切りますか？」のメッセージが約５秒間表示されます。
2．メッセージが表示されている間に、もう一度 STANDBY/ON ボタンを押してください。ランプが消灯し、冷却動作を開始します。冷却動作中は POWER インジケータが橙色に点滅します。
3．冷却が終わると POWER インジケータは点滅をやめ、橙色に点灯します。電源スイッチの「○」と表示されている側を押してください。電源が切れて、POWER インジケータが消灯します。
4．レンズ部保護のためレンズカバーを取り付けてください。

電源を切った後 10 分以内は、電源を入れないでください。本機の温度が十分に下がっていない状態で電源を頻繁に入れたり切ったりすると、ランプの寿命を縮めることがあります。

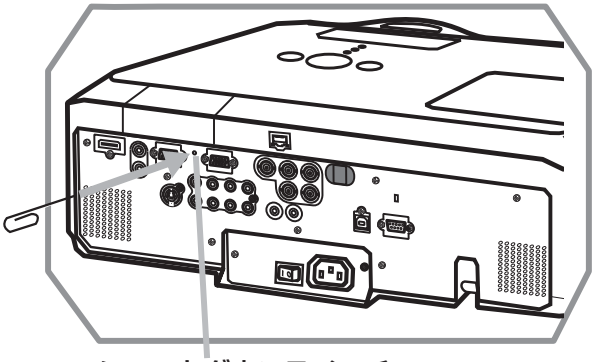
**お知らせ**

●「その他」メニューの「オートオフ」（📖 詳細版）を「有効」に設定している場合、電源を切る操作を行わなくても自動的に本機の電源が切れます。

## ⚠ 警告

高温注意

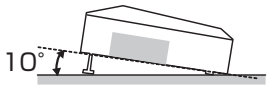
**●高温に注意する**
使用中や使用後しばらく、排気口に近づいたり、レンズやランプカバーに触れたりしないでください。



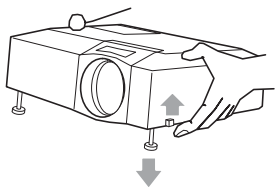
シャットダウンスイッチ

**正常な操作で電源を切ることができない場合**
**（シャットダウンスイッチを使う）**
シャットダウンスイッチを押すと本機の動作を終了し、電源を切ることができます。
シャットダウンスイッチは、細い棒状のものを差し込んで押してください。シャットダウンスイッチを押した後は、電源プラグを抜き、本機を十分に冷ましてください。

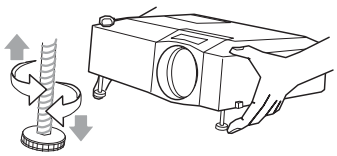
## 傾きを調節する




スクリーンなどの投写面に傾きがある場合は、アジャスタ脚を使って本機のレンズ面と投写面をできるだけ平行にしてください。本機のアジャスタ脚では、水平な設置面に対し、前上がりに最大 10° まで傾けることができます。
アジャスタ脚とアジャスタつまみは、本機の左右側面下部、前寄りに一組ずつ計二組あります。アジャスタつまみを引き上げると、その側面にあるアジャスタ脚の固定がはずれて、脚の長さが変えられます。
アジャスタ脚の固定がはずれると、本機が落ちることがありますので、アジャスタつまみは本機を持ちながら操作してください。



1．後部を設置面に着けたまま、本体を背面から両手で支え、アジャスタつまみを引き上げてください。アジャスタ脚の長さが変えられるようになります。
2．アジャスタつまみを引き上げたまま、本機の位置（角度）を決めます。お好みの位置でアジャスタつまみを放してください。アジャスタ脚が固定されたのを確認して、静かに本体を置いてください。
3．アジャスタ脚をネジのように回すと、アジャスタ脚を固定したまま長さを微調節できます。必要に応じてお使いください。



### ⚠ 警告

**●衝撃をあたえない**
アジャスタ脚の調節は、本体を持ちながら行ってください。

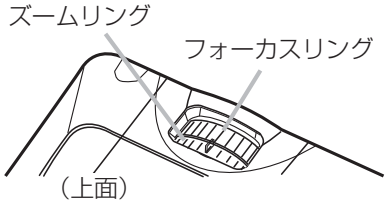
**●不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない**
アジャスタ脚の調節以外の方法で傾けて設置しないでください。

**●傾けて使用しない**
傾けてのご使用は、前後方向 ( 前上がり )10° 以内で設置してください。10° 以上の角度に傾けた状態でのご使用は故障や寿命を縮める原因となります。

## ズーム（表示倍率）、フォーカス（焦点）を調節する

1．ズームリングを左右にまわして、映像画面の大きさを調節してください。
2．フォーカスリングを左右にまわして、映像の焦点を合わせてください。

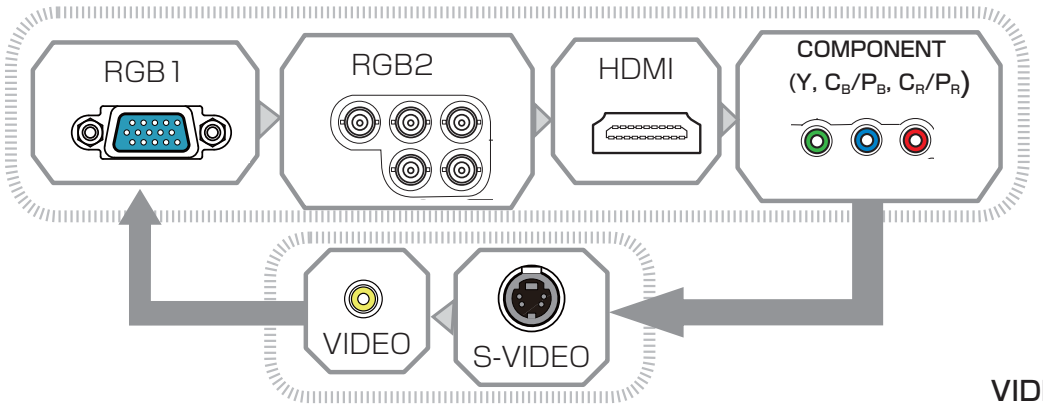
絶対にレンズや投写光をのぞかないでください。

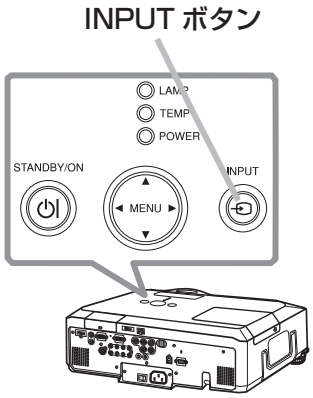


# 入力信号を選ぶ

**■操作パネルの入力切替ボタンを押す**

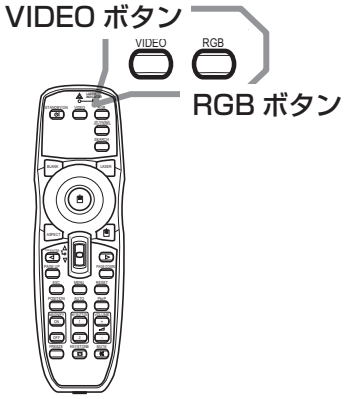
全ての映像信号の入力端子を、順繰りに切り替えることができます。選択されていた端子を起点に、以下の順序で切り替わります。



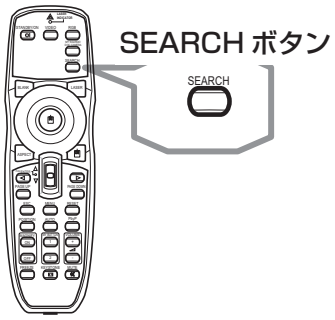

**■リモコンの RGB ボタン、VIDEO ボタンを押す**

映像信号の入力端子を、信号の種類別に切り替えることができます。RGB ボタンを押すと、パソコンなどからの映像信号の入力端子（RGB1、RGB2、HDMI、COMPONENT(Y, $C_B/P_B$, $C_R/P_R$)）を、VIDEO ボタンを押すと、ビデオ /DVD プレーヤなどからの映像信号の入力端子（S-VIDEO、VIDEO）を選択することができます。




**リモコンの SEARCH ボタンを使う**

本機に入力されている映像信号を検索することができます。入力信号が見つからない場合は、**SEARCH** ボタンを押したときの状態に戻って終了します。

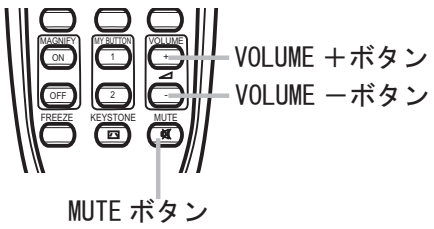



## お知らせ

- ノートパソコンや、ディスプレイ一体型パソコンなどからの映像信号を本機に入力するには、RGB 外部映像出力を有効（LCD と CRT 同時表示、または CRT の設定）にしてください。
  例）[ Fn ] キー ＋ [ F7 ] 又は [ F8 ]　　など
  詳しくはご使用になるパソコンの説明書をご覧ください。
- 「オートサーチ」が「有効」（📖 ***詳細版***）に設定されていると、いずれかのボタンで映像信号を切り替えると、正常な入力信号を検出するまで各端子を自動的に検索します。
- パソコンの表示モードや、信号の種類（信号方式、解像度、周波数など）によっては、映像を表示できないことがあります。
- パソコン上で解像度を切り替えるとき、通常より時間がかかったりすると、解像度切替えの画面表示が確認できず、もとの解像度に戻ってしまうことがあります。このような場合は、別の表示装置を使って解像度を切り替えてください。
- 本機は UXGA(1600 × 1200) 信号まで表示できますが、映像品質は、入力信号と本機のパネルの解像度 (1280 × 800) が同じときに最良です。

## 音声を調節する

リモコンの VOLUME ＋または VOLUME －ボタンを押すと、音量調節のためのガイドが表示されます。ガイドが表示されている間、VOLUME ＋ / －ボタンで音量を調節できます。
約 5 秒間調節を行わないと、ガイドが消えて音量の調節が終了します。
音声を消したいときは、リモコンの MUTE ボタンを押すと、音声が消え、MUTE ダイアログ（音量調節のためのガイドの先頭に「🔇」が表示されているもの）が表示されます。ダイアログは約 5 秒で消えます。




もう一度 MUTE ボタンを押すか、VOLUME ＋ / －ボタンを押して音量の調節を開始すると、音声は復帰します。

**お知らせ**

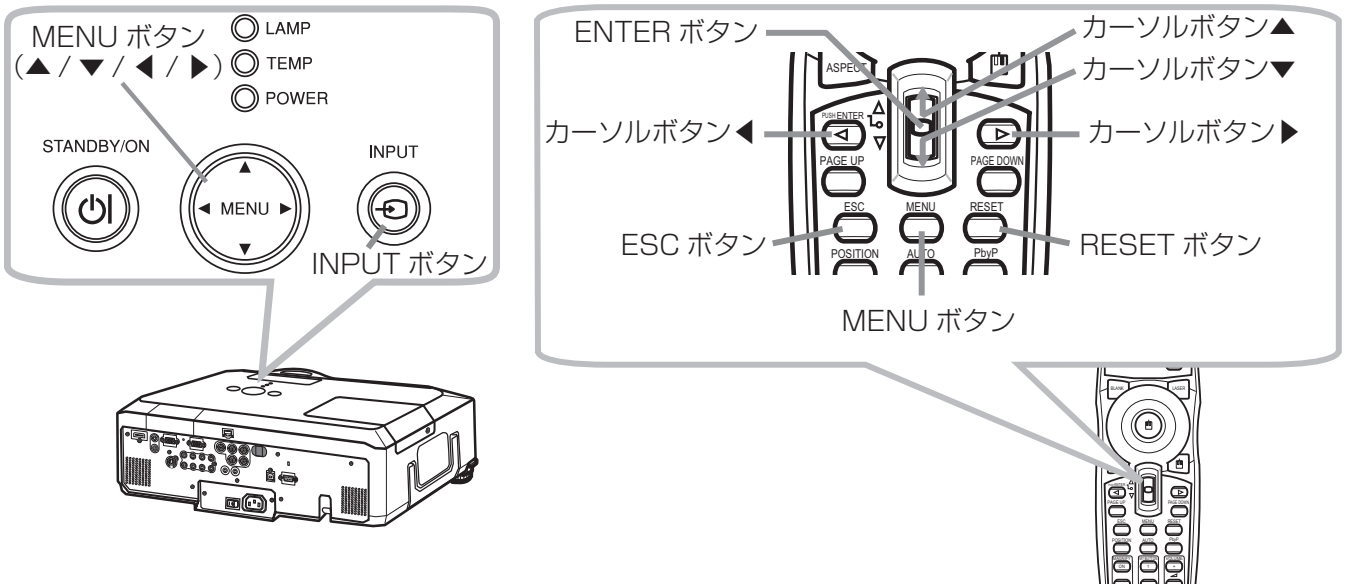
- AUDIO OUT 端子からの音量も調節することができます。音声を消すと、AUDIO OUT 端子からの音声も出力されなくなります。
- 「オーディオ」メニューの「スピーカー」（📖 詳細版）で「無効」が選択されていると、本機の内蔵スピーカーから音声は出力されません。
- 「オーディオ」メニューの「AUDIO」（📖 詳細版）で、受信中の信号の入力端子に「 🔇 」が選択されていると、音声は出力されません。また、「オーディオアウトスタンバイ」に「 🔇 」が選択されていると、本機がスタンバイ状態の時には AUDIO OUT 端子から音声は出力されません。

## 簡単メニューを操作する

操作パネルの MENU ボタン（カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶）のいずれか、またはリモコンの MENU ボタンを押してください。簡単メニューまたは詳細メニューは、前回ご使用になっていたほうのメニューが表示されます。電源を入れた後は必ず簡単メニューが表示されます。

1. 簡単メニューが表示されたら、カーソルボタン▲ / ▼で操作したい項目を選択してください。選択されている項目は黄色く反転表示されます。
2. カーソルボタン◀ / ▶で選択した項目の設定、調節、および実行することができます。

■操作の途中で RESET ボタンを押すと、選択中の項目を初期設定にもどすことができます。ただし、「表示言語」や「フィルタータイマー」など、一部の項目は初期化されません。
■数秒間なにも操作を行わないか、もう一度 MENU ボタンを押すと、表示が消えて操作を終了します。
■詳細メニューに切り替えたいときは、「詳細メニューへ…」を選択、実行してください。



## ランプを交換する

### ランプについてのご注意

**⚠ 警告**　感電注意　高温注意　破裂注意

**●本機のランプは、ガラス製で内部圧力の高い水銀ランプです**
このランプは、衝撃や傷、高温状態での取扱い、使用時間の経過による劣化などで、大きな音を伴って破裂したり、不点灯状態になって寿命が尽きたりする特性があります。寿命にはランプによって大きな差があり、使用後まもなく破裂したり不点灯になったりすることもあります。
▶ランプが破裂すると、ランプハウスにガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部の水銀を含むガスが本機の通風口から出たりすることがあります。ご使用のまえに、本書および本機の注意ラベルをよくお読みになり、取扱いには十分ご注意ください。

**●使用済みランプの廃棄について**
本機は水銀ランプを使用しています。廃棄は、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従って正しく行ってください。

電源プラグをコンセントから抜け

**●ランプが破裂したら使用を中止して電源プラグを抜き、販売店に連絡する**
万一、ランプが破裂した場合（破裂音がします）は、本機の電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店にランプ交換をご依頼ください。
▶飛び散ったガラス片によって、けがや本機の内部を傷つける原因となることがありますので、お客様による本機内部の清掃やランプ交換はおやめください。
▶換気を十分にして、本機の通風口から排出されるガスを吸い込んだり、目や口に入ったりしないようにご注意ください。

**●ランプを交換するまえに、電源プラグを抜き、十分冷ます**
ランプを交換するまえに、必ず電源を切って電源プラグを抜き、45 分以上放置して、ランプおよび本機内部を十分冷ましてください。電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因となります。また、高温状態での取扱いは火傷や破裂の原因となります。

**●天吊りや高所への設置状態では本機のランプカバーを開けない**
万一、ランプが破裂していると、破片が落下して危険です。また高所での作業は危険ですので、ランプが破裂していない場合でも、ランプ交換は必ず販売店にご依頼ください。

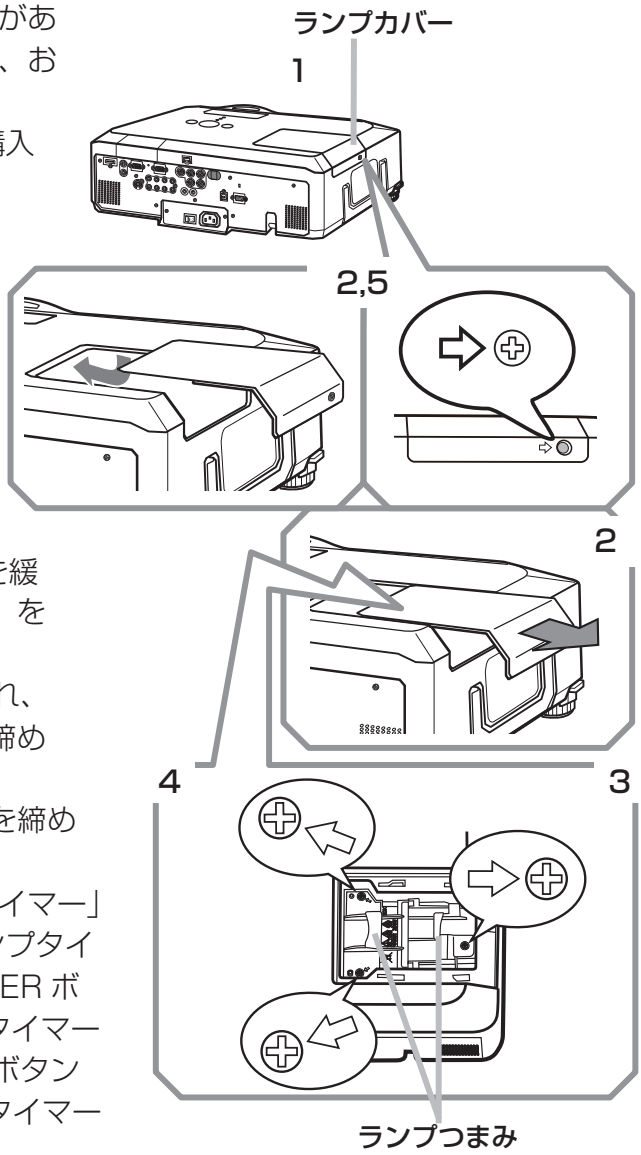
**●ランプカバーを外した状態で本機を使用しない**
ランプ交換の後は、ネジなどがしっかりと止められ、ランプカバーがきちんと閉じられていることを確認してください。ネジがゆるんでいたりランプカバーが外れたりすると、けがや故障の原因となることがあります。

**●ランプは取扱いに注意し、正しく使用する**
ランプは指定のものをご使用ください（📖24）。ランプを交換するときは、本書に指定の交換用ランプと型名が一致することを予めご確認ください。本機の仕様に合わないランプを使用すると、火災や故障の原因となったり、本機の寿命を縮める原因となることがあります。また、ランプに衝撃を加えたり傷つけたりしますと、使用中に破裂する場合がありますので、ていねいに取り扱ってください。
▶古いランプ（ご使用済み）の再利用はランプの破裂の原因となりますのでおやめください。
▶ランプを長時間ご使用になると映像が暗くなったり、ランプが破裂したり、点灯しなくなる場合があります。映像がくらくなったり、色あいが悪くなったりしたら、お早めに交換してください。
▶ランプ交換の際は、エアーフィルターも交換してください（📖25）。本機の交換用ランプに本機用のエアーフィルターが付属されています。

## ■ランプの交換方法

ランプは使用時間の経過にともない、徐々に映像が暗くなったり、色合いが悪くなったりすることがあります。また、ランプの寿命にはばらつきがあり、ご使用開始から比較的短時間で破裂したり、不点灯となったりすることがあります。あらかじめ交換用のランプをご用意いただき、お早めに交換いただくことをお勧めします。
交換用のランプは、下記の型名を販売店に指定してご購入ください。

**型名 CP-X809J 001 (DT00873)**




**交換手順（ご自分でランプを交換する場合）**

1. 本機の電源を切って電源プラグを抜き、45 分以上放置して冷ましてください。
2. 右図を参考に、ランプカバーのネジ（⇨）を緩めてプロジェクター本体からランプカバーを外してください。
3. ランプを固定している３つのネジ（⇖、⇨、⇙）を緩めランプつまみを持って、ランプ ( ランプケース）をゆっくり引き出してください。
4. 新しいランプを取り出したランプと同じように入れ、緩めた 3 つのネジ（⇖、⇨、⇙）をもとのように締めてください。
5. ランプカバーを閉じて、もとのようにネジ（⇨）を締めて固定してください。
6. 本機の電源を入れ、「その他」メニューの「ランプタイマー」を使ってランプ時間を初期化してください。「ランプタイマー」を選択してカーソルボタン▶ ( または ENTER ボタン )、または RESET ボタンを押すと、ランプタイマー初期化確認ダイアログが表示されます。カーソルボタン▲を押して「初期化する」を選択すると、ランプタイマーを初期化することができます。
   初期化する ← 初期化しない
   タイマーを初期化した後は、メニューの「ランプタイマー」の右側の値が「0」になっていることを確認してください。

### お守りください

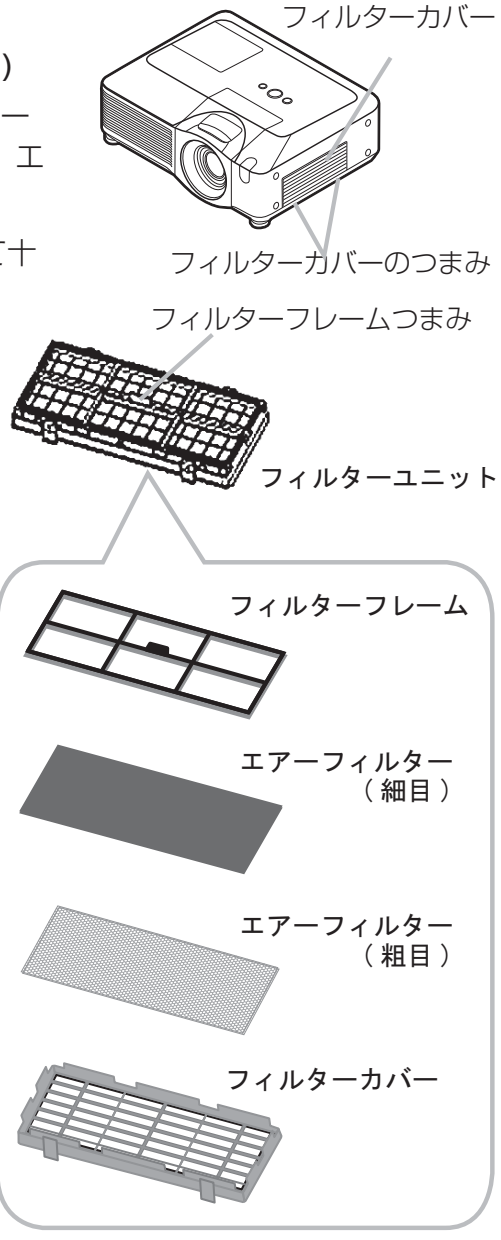
- ●ランプを外した状態で本機の内部に触れないでください。故障、映像不良の原因となることがあります。
- ●ランプタイマーの初期化は正しく行ってください。ランプを交換したら必ずランプタイマーを初期化してください。ランプを交換せずにランプタイマーを初期化しないでください。
  ランプタイマーはランプの使用時間です。初期、または前回ランプタイマーを初期化した時から現在までの本機の稼働時間を 1 時間単位で表示します。ランプタイマーの初期化は、ランプの交換に合わせて正しく行わないと実際のランプの使用時間とランプタイマーの値が一致しません。

# エアーフィルターを掃除／交換する

本機のエアーフィルターユニットは、2 種類のフィルターと、フィルターカバーとフィルターフレームで組み立てられています。この二重エアーフィルターは、頻繁なお手入れの手間を省き、かつ長くご使用いただけますが、本機内部の換気と正常な動作を維持するため、定期的な確認とお手入れをお願いいたします。エアーフィルターの掃除を促すメッセージ（📖28）が表示されたときや、TEMP インジケータ（📖29）が赤く点灯した場合は、できるだけ早くお手入れしてください。
エアーフィルターが傷んでいたり、汚れがひどくて掃除しきれない場合は交換が必要です。 あらかじめ交換用のエアーフィルターをご用意いただくことをお奨めします。交換用のエアーフィルターは、下記の型名を販売店に指定してご購入ください。

**交換用エアーフィルター：型名 CP-X809J 002 (MU05661)**

また、ランプを交換（📖23,24）するときは、エアーフィルターも交換してください。本機の交換用ランプをご購入いただくと、エアーフィルターも付属されています。




1. 本機の電源を切って（📖19）電源プラグを抜き、放置して十分冷ましてください。
2. フィルターカバーとその周辺を、掃除機で掃除してください。
3. フィルターユニットをプロジェクター本体から外します。フィルターカバーのつまみを持って手前に引き上げるようにしてください。
4. プロジェクター本体のフィルターユニットがついていた部分 ( 吸気口 )、およびフィルターユニットの両面を掃除機で掃除してください。掃除機でエアーフィルターを吸い込まないよう、ご注意ください。
   エアーフィルターが傷んでいたり、汚れがひどくて掃除しきれない場合は、次の5、6の手順にしたがって、新しいエアーフィルターに交換してください。

**＜エアーフィルターを交換する場合＞**

5. フィルターカバーを片手で押さえ、フィルターフレームのつまみを持って、フィルターユニットから外してください。フィルターフレームを外したら、エアーフィルター二枚を外してください。
6. 新しいエアーフィルターを取り付けます。
   フィルターカバーに、粗目のエアーフィルター ( 白いもの )、細目のエアーフィルター ( 灰色のもの ) の順に置き、最後にフィルターフレームを、エアーフィルター二枚を挟み込むようにして取り付けてください。
7. フィルターユニットをもとのように本体に取り付けてください。
8. 本機の電源を入れ、「簡単メニュー」の「フィルタータイマー」を使ってフィルター時間を初期化してください。「フィルタータイマー」を選択してカーソルボタン▶ ( または ENTER ボタン )、または RESET ボタンを押すと、フィルタータイマー初期化確認ダイアログが表示されます。カーソルボタン▲を押して「初期化する」を選択すると、フィルタータイマーを初期化することができます。
   **初期化する ← 初期化しない**
   タイマーを初期化した後は、メニューの「フィルタータイマー」の右側の値が「0」になっていることを確認してください。

## エアーフィルターを掃除／交換する（つづき）

### ⚠ 警告

電源プラグを
コンセント
から抜け

**●エアーフィルターをお手入れする前に、電源プラグを抜き、十分冷ます**
エアーフィルターをお手入れする前に、必ず電源を切って電源プラグを抜き、本機内部を十分に冷ましてください。電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因になります。また、高温状態での取扱いはやけどの原因となります。

**●エアーフィルターは正しく使用し、定期的にお手入れする**
エアーフィルターがほこりや汚れで詰まったり、正しく取付けられていなかったりすると、内部温度が上がり過ぎて本機の電源が自動的に切れたり、火災、故障の原因となることがあります。
▶エアーフィルターやフィルターカバー、フィルターユニットを外した状態では使用しないでください。
▶エアーフィルターが傷んでいたり汚れがひどい場合は、新しいエアーフィルターと交換してください。その際、必ず指定のエアーフィルターを正しくご使用ください。

### お守りください

●フィルタータイマーの初期化は正しく行ってください。エアーフィルターを掃除または交換したら必ずフィルタータイマーを初期化してください。エアーフィルターの掃除や交換をせずにフィルタータイマーを初期化しないでください。フィルタータイマーはエアーフィルターの使用時間です。初期、または前回フィルタータイマーを初期化した時から現在までの本機稼動時間を 1 時間単位で表示します。フィルタータイマーの初期化はエアーフィルターの掃除または交換に合わせて正しく行わないと、実際のエアーフィルターの使用時間とフィルター時間の値が一致せず、エアーフィルターの掃除時間をお知らせするメッセージも正しく表示されません。

# その他のお手入れ

## レンズのお手入れ

レンズが傷ついてたり、くもったり、汚れたりすると、映像不良の原因となります。

1．本機の電源を切って電源プラグを抜き、しばらく放置して冷ましてください。
2．本機が十分に冷えていることを確認し、市販のレンズクリーニングペーパー（カメラやメガネの清掃用）でレンズを軽く拭いてください。レンズを傷つけないように、また、素手で触らないようにご注意ください。

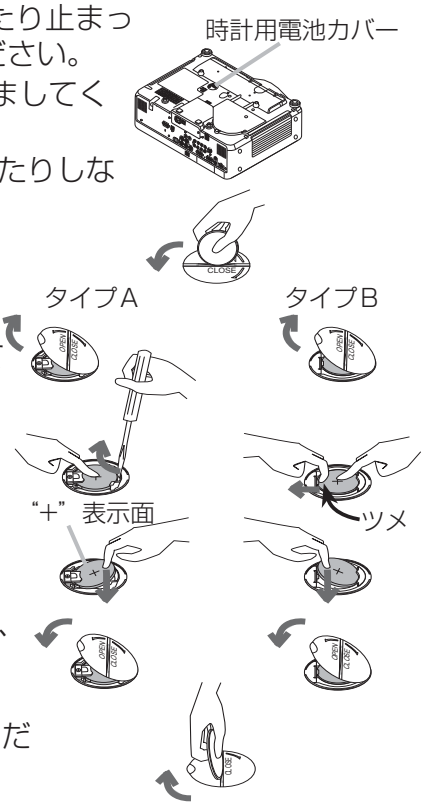
## キャビネットやリモコンのお手入れ

1．本機の電源を切って電源プラグを抜き、しばらく放置して冷ましてください。
2．本機が十分に冷えていることを確認し、ガーゼなどのやわらかい布で軽く拭いてください。
汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤に浸してよく絞ったやわらかい布で軽く拭いた後、別の乾いたやわらかい布で軽く拭いて仕上げてください。

## 内蔵時計用電池の交換

本機は電池式内蔵時計を備えています。電池が消耗すると、時計がずれたり止まったりすることがあります。この場合は電池を新しいものに交換してください。

1．本機の電源を切って（📖19）電源プラグを抜き、放置して十分冷ましてください。
2．本機の底面を上に向けて置いてください。本機をぶつけたり落としたりしないよう、ご注意ください。
3．電池カバーを外します。図を参考に、電池カバーの溝にコインなどを合わせて「OPEN」と表示されている方向に回し、外してください。
4．電池ケースから古い電池を取り外します。
お客様の電池ケースタイプ (A または B) を図で確認し、図に従って電池を取り出してください。
取り出す際、電池が飛び出す恐れがありますので、軽く指を添えながら取り出すことをお奨めします。
5．新しい電池をいれます。電池は必ず下記のものをご使用ください。
**内蔵時計用電池：日立マクセル製、型名 CR2032 または CR2032H**
図に従い、電池をケースに滑り込ませます。電池を上から軽く押し、電池ケースに固定してください。
6．電池カバーを閉じます。電池カバーの溝にコインなどを合わせて「CLOSE」と表示されている方向に回し、もとのように固定してください。




## ⚠ 警告

破裂注意

**●電池の取扱いに注意する**

取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。また電池は小さいので、お子様やペットが飲み込むおそれがあります。

万一、飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。

液漏れしたときは、すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。漏れ液が皮膚や衣服に着いた場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。目などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。

▶交換するときは、新しい（未使用の）**日立マクセル製、型名 CR2032 または CR2032H のボタン型電池**を使用してください。
▶傷のある電池は使用しないでください。
▶電池ケースの極性表示（⊖）に従って正しく入れてください。
▶火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。
▶子どもやペットが届かないところに保管してください。
▶衝撃をあたえないでください。投げたり落としたりしないでください。
▶充電、短絡、分解、加工、はんだつけなどしないでください。
▶電池の電極部に金属を接触させないでください。ピンセットなどの金属製の物で持たないでください。

## お守りください

●もし電池を逆さまにいれてしまったら、以下の手順で外し、正しく入れなおしてください。
1．電池カバーを外したまま底面を下にして本機を置きなおしてください。
2．本機の前側（レンズ側）を持ち上げながら、通常の取り外しと同様の手順をお試しください。電池が外れて落ちて来ますので、失くさないようにご注意ください。

# 故障かなと思ったら

ご使用のまえに、必ず「正しくお使いいただくために」（📖4 ～ 10）をお読みください。
異常が発生した場合は、すぐに電源プラグを抜き、販売店またはお客様ご相談窓口（📖34）にご相談ください。その他の問題が起きた場合は、修理を依頼される前に、本章の内容をご確認いただき、必要と思われる処置を行ってください。それでも問題が解決しない場合は、販売店またはお客様ご相談窓口（📖34）にご相談ください。

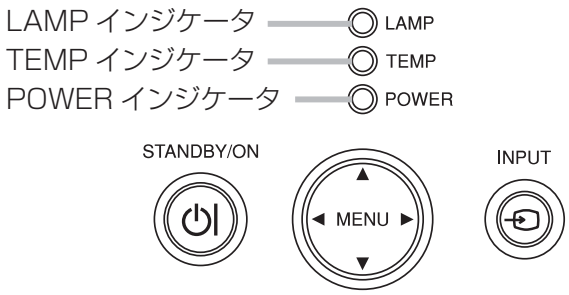
## メッセージ表示について

本機の電源を入れたときに、下表のようなメッセージは表示されることがあります。メッセージが表示されたら下表に従って処置してください。処置後も同じメッセージが表示されたり、下表に記載されていないメッセージが表示された場合は、販売店にご相談ください。

| メッセージ | 内　容 |
|---|---|
| **信号が入力されていません**<br>**＊＊＊** | 入力信号が見つかりません。以下のことをご確認ください。<br>· 信号ケーブルやコネクタは正しく接続されていますか？（📖16）<br>·信号源（DVD、ビデオ、パソコンなど）は正しく動作していますか？ |
| **信号は同期範囲外です**<br>**＊＊＊**<br>**fH ＊＊ kHz fV ＊＊ Hz** | 入力されている信号の水平または垂直周波数は本機の対応範囲外です。以下のことをご確認ください。<br>· 入力している信号は本機の仕様（📖 **詳細版**）に合ってますか？<br>· 信号源（DVD、ビデオ、パソコンなど）は正しく動作していますか？ |
| **入力信号が不安定です**<br>**＊＊＊** | 入力信号の水平又は垂直周波数が安定していません。<br>以下のことをご確認ください。<br>· 入力している信号は本機の仕様（📖 **詳細版**）に合っていますか？<br>· 信号ケーブルやコネクタは正しく接続されていますか？（📖16）<br>·信号源（DVD、ビデオ、パソコンなど）は正しく動作していますか？<br>信号入力切替機を介して信号源と本機を接続している場合は、信号源と本機を直接接続してみてください。左記のメッセージが表示されなくなる場合は、ご使用の信号入力切替機の仕様をご確認ください。 |
| **吸気口をチェックしてください** | 内部の温度が上昇しています。すぐに本機の電源を抜き、20 分以上冷ましてから、以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。<br>· 吸気口、排気口はふさがっていませんか？（📖12）<br>· エアーフィルターは汚れていませんか？（📖25）<br>· 周囲温度が 35℃を超えていませんか？<br>· エアコンなどの風が本機にあたっていませんか？<br>再度電源を入れたときに左記のメッセージがまだ表示される場合は、「その他」メニューの「特別な設定」ー「ファン速度」（📖 **詳細版**）を「高速」に設定してみてください。 |
| ご注意<br>前回のエアーフィルターの掃除から<br>＊＊＊ 時間以上経過しました。<br>エアーフィルターの掃除をお願いします。<br>エアーフィルター掃除後、<br>フィルタータイマーをリセットしてください。<br>詳しくは取扱説明書をご覧ください。 | エアーフィルターのお手入れ時期です。すぐに電源を切って電源プラグを抜きしばらく待って十分冷ましてから、エアーフィルターを掃除または交換（📖25）してもう一度電源を入れてください。 |

# インジケータ表示について

POWER インジケータ、LAMP インジケータ、TEMP インジケータの点灯や点滅には下表のような意味があります。なんらかの問題がある場合は下表に従って処置してください。処置後もインジケーターが同様に点灯、点滅したり、下表に記載されていない点灯や点滅が見られた場合は、販売店にご相談ください。




| POWER インジケータ | TEMP インジケータ | LAMP インジケータ | 内　容 |
|---|---|---|---|
| 橙色の点灯 | 消　灯 | 消　灯 | 本機はスタンバイ状態です。<br>この状態でランプを点灯させる（📖19）、または電源スイッチを切ることができます。（📖19） |
| *緑色の点滅* | 消　灯 | 消　灯 | 本機はウォームアップ中です。<br>POWER インジケータの点滅が止まるまでお待ちください。 |
| 緑色の点灯 | 消　灯 | 消　灯 | 本機は通常の動作状態です。 |
| | TEMP、LAMP インジケータが同時に*赤色の点滅* | | エアーフィルターのお手入れ時期です。<br>すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、本機が十分に冷えてからエアーフィルターを掃除または交換（📖25）してください。 |
| | TEMP、LAMP インジケータが交互に*赤色の点滅* | | 内部温度が下がりすぎている可能性があります。<br>本機の電源を切って電源プラグを抜き、周囲の気温をご確認のうえ、もう一度電源を入れなおしてください。 |
| *橙色の点滅* | 消　灯 | 消　灯 | 本機は冷却動作中です。<br>POWER インジケータの点滅が止まるまでお待ちください。 |
| *赤色の点滅* | ― | ― | 不具合が見つかったため、本機は冷却動作中です。<br>POWER インジケータの点滅が止まるまでお待ちになり、TEMP、LAMP インジケータの状態により、以下に従って処置してください。 |
| 赤色の点灯<br>または<br>*赤色の点滅* | 消　灯 | 赤色の点灯<br>または<br>*赤色の点滅* | ランプが点灯しない、または本機内部の温度が上がりすぎているか、ランプ、ランプカバーの取付けが不完全な可能性があります。<br>すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、45 分以上待って本機が十分に冷えてから、吸気口や排気口とその周囲、エアーフィルター、周囲温度（35℃以下）、ランプまたはランプカバーの取付け状態をご確認ください。<br>再度電源を入れたときにインジケータ表示が変わらない場合は、ランプを交換してください。（📖23,24） |
| | 赤色の点灯<br>または<br>*赤色の点滅* | 消　灯 | 本機内部の温度が上がりすぎているか、冷却ファンが動作していない可能性があります。<br>すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、20 分以上待って本機が十分に冷えてから、本機の周辺に磁気を発生するものがないか、また、吸気口や排気口とその周囲、エアーフィルター、周囲温度（35℃以下）、周囲の環境 ( エアコンの風向きなど ) をご確認ください。 |

**お知らせ**

●本機内部の温度が上がりすぎたときには、安全のため、自動的に本機の電源が切れます。インジケータが全て消灯した場合は、電源プラグを抜いて 45 分以上お待ちください。

## 故障と間違えやすい現象について

以下のような現象は故障ではない場合があります。
修理をご依頼になるまえに、下表に従ってご確認のうえ、必要に応じて処置してください。
処置後も現象が改善しない場合は販売店またはお客様ご相談窓口（🕮34）にご相談ください。

| 現　象 | 確認内容 | 参考頁 |
|---|---|---|
| 電源が入らない | 電源コードは正しく接続されていますか？<br>電源コードの接続状態を確認し、正しく接続してください。 | 🕮18 |
| | 停電などで、動作中に電源が切れませんでしたか？<br>その場合は電源プラグを抜いて 10 分以上待って冷まし、もう一度電源を入れてください。 | 🕮19 |
| | ランプおよびランプカバーは正しく取付けられていますか？<br>すぐに電源プラグを抜き、45 分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてからランプおよびランプカバーの取付け状態をご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 | 🕮19<br>🕮23,24 |
| 映像または音声が出ない | 信号ケーブルは正しく接続されていますか？<br>信号ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。 | 🕮16 |
| | 信号が入力されている端子を選んでいますか？<br>映像信号を選択しなおしてください。 | 🕮21 |
| | 接続しているパソコンがプラグ＆プレイ･モニターを検知できますか？<br>他のプラグ･アンド･プレイ･モニターを使用して、パソコンがプラグ･アンド･プレイ･モニターを検知することができるか確認してください。 | 🕮16 |
| | ブランク画面になっていませんか？<br>BLANK ボタンを押して確認してください。 | 🕮14 |
| | 音声を消している、又は音量を極端に小さくしていませんか？<br>MUTE ボタンまたは VOLUME 音量 ＋ / －ボタンを押し、音声を復帰させるか、音量を調節して大きくしてください。 | 🕮22 |
| | HDMI 選択時は、本機、および HDMI 出力機器がお互いを認識していない可能性があります。一度、本機及び HDMI 出力機器の電源を切り、再度電源を入れてみてください。 | ― |
| 映像が暗い、ぼやける、もやがかかってみえる、画像周辺が明るい | 「静音」モードに設定されていませんか？<br>「簡単メニュー」の「静音」を「標準モード」にしてください。 | 🕮22 |
| | フォーカスは調節されていますか？<br>フォーカスを調節してください。 | 🕮20 |
| | レンズが汚れたり、くもったりしていませんか？<br>レンズをお手入れしてください。 | 🕮26 |

**お知らせ**

- ●画面中に輝点や黒点がみられることがありますが、これは液晶特有の現象であり、故障ではありません。
- ●静止画、動きの少ない映像や液晶パネルの仕様と異なる縦横比（4：3 など）の映像を長時間または繰り返し投映すると、液晶パネルが焼きついて残像が残ることがあります。この場合は白画面（白い無地の映像）を 1 時間以上投映し続けるか、または電源を切って数時間放置してください。白画面表示には、ブランク機能（🕮14）をご利用ください。

## ※取扱説明書 CD-ROM を使う

本書は、最初に本機をご利用いただくのに便利な、簡易版 取扱説明書です。同梱の取扱説明書 CD-ROM 内には、より詳細な、「取扱説明書 - 詳細版 -」が収録されています。本書に記載されていない複雑な操作やお手入れ方法など、詳しい情報については、そちらをご参照ください。

取扱説明書 CD-ROM を再生するには、以下の環境が必要です。

| | |
|---|---|
| Windows®: | OS: Microsoft® Windows® 98、Windows® 98SE、Windows NT® 4.0、Windows® Me、Windows® 2000/Windows® XP 以降<br>CPU: Pentium® プロセッサ 133MHz 以上<br>Memory: 32MB 以上 |
| Macintosh®: | OS: Mac OS® 10.2 以降<br>CPU: PowerPC®<br>Memory: 32MB 以上 |
| CD ドライブ : | 4 倍速以上 |
| グラフィック : | 256 色以上、VGA（640 × 480）以上 |
| アプリケーション : | Microsoft® Internet Explorer® 4.0 以降、<br>および Adobe® Acrobat® Reader® 4.0 以降 |

⇒ 取扱説明書 CD-ROM をご使用の前に、「使用上のご注意」(📖8) をご確認ください。

### 再生方法

1. CD をパソコンの CD ドライブに挿入してください。
   ■ Windows® の場合
   しばらくして、ウェブブラウザが自動的に起動し、初期画面が表示されます。
   ■ Macintosh® の場合
   (1) デスクトップ上の、“Projectors”のアイコンをダブルクリックしてください。
   (2) “main.html”ファイルをクリックすると、ウェブブラウザが起動し、初期画面が表示されます。
2. ご使用の機種名をクリックしてください。「取扱説明書 - 詳細版 -」の画面が開きます。

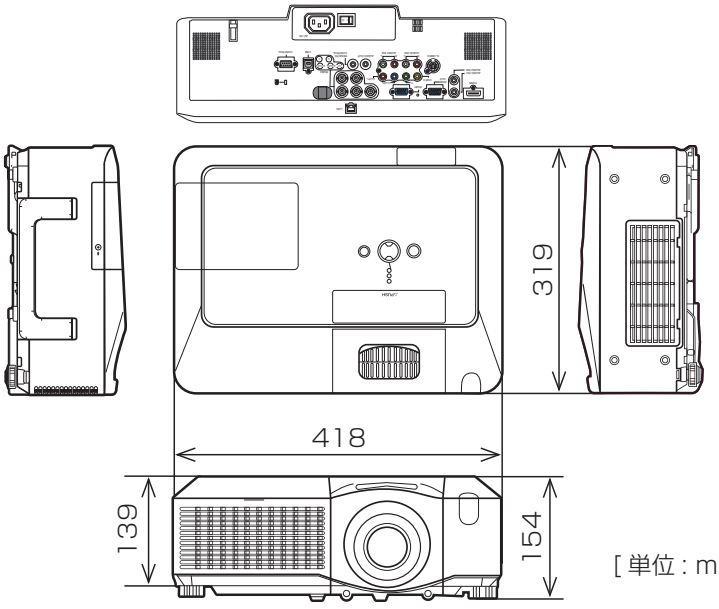
### お知らせ

- 説明書の内容は、製品の仕様を含め、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。
- 説明書の運用結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 説明書の内容の一部、あるいは全部を無断で複写、転載しないでください。

## 仕様

| 項　目 | 仕　様 |
|---|---|
| 品名 | 液晶プロジェクター |
| 液晶パネル | 1,024,000 画素（水平 1280 x 垂直 800）　アスペクト比　16：10 |
| ランプ | 275W UHB |
| スピーカー | 4W x 4 |
| 電源／消費電力 | AC 100V/5.0A ／ 460W |
| 使用温度範囲 | 5 ～ 35° C |
| 外形寸法／質量 | 418（幅）x 139（高さ）x 319（奥行き）mm 突起部含まず（下図ご参照）/ 約 7.1 kg |
| 端子 | **RGB 信号入力**<br>RGB1.....D サブ 15 ピンミニ x1<br>RGB2(G/Y,B/$C_B$/$P_B$,R/$C_R$/$P_R$,H,V)<br>.....BNC x5<br>**RGB 信号出力**<br>RGB OUT .....D サブ 15 ピンミニ x1<br>**デジタル信号入力**<br>HDMI.....HDMI x1<br>**ビデオ信号入力**<br>Y,$C_B$/$P_B$,$C_R$/$P_R$(component video)<br>.....RCA x3<br>S-VIDEO..... ミニ DIN 4ピン x1<br>VIDEO.....RCA x1<br>**音声信号入力**<br>AUDIO IN1 .....ステレオミニ x1<br>AUDIO IN2.....ステレオミニ x1<br>AUDIO IN3.....RCA x2<br>AUDIO IN4.....RCA x2<br>**音声信号出力**<br>AUDIO OUT.....ステレオミニ x1<br>**その他**<br>CONTROL .....D サブ 9 ピン x1<br>USB.....USB(B) x1<br>REMOTE CONTROL.....ステレオミニ x1<br>LAN ..... RJ-45 x1 |
| 別売品 | ランプ：CP-X809J 001 (DT00873)<br>エアーフィルター：CP-X809J 002 (MU05661)<br>※その他については販売店にご相談ください。 |

## 外形寸法




[ 単位 : mm]

# 保証とアフターサービスについて（必ずお読みください。）

## 修理を依頼されるときは

### （出張修理）

「故障かなと思ったら」に従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

**保証書**

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめください。内容をよくお読みの後大切に保管してください。
保証期間については保証書をご覧ください。

**ご不明な点や修理に関するご相談は**

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にお問い合わせください。

**補修用性能部品保有期間**

補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後６年です。

### 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。

### ご連絡していただきたい内容

| | |
|---|---|
| 品　　名 | 液晶プロジェクター |
| 本体型名 | CP-WX625J |
| お買上げ日 | 年　　月　　日 |
| 故障の状況 | できるだけ具体的に |
| 梱包材の有無 | 輸送いただく場合はお買い上げ時の梱包材をお使いください。梱包材が損傷していたり廃棄または紛失した場合はお知らせください。 |
| ご　住　所 | 付近の目印なども合わせてお知らせください。 |
| お　名　前 | |
| 電話番号 | |
| 訪問ご希望日 | |

### 修理料金のしくみ

**技術料**　故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。

＋

**部品代**　修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

＋

**出張料**　製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

| ご購入店名 | ご購入年月日 |
|---|---|
| 電話（　　） | 年　　月　　日 |

## 長年ご使用のプロジェクターの点検をぜひ！

熱、湿気、ほこり、煙草の煙などの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることもあります。

**愛情点検**

**このような症状はありませんか**

- ●電源スイッチを入れても映像が出ない。
- ●映像が時々、消えることがある。
- ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- ●電源スイッチを切っても、映像が消えない。
- ●内部に水や異物が入った。
- ●ランプが破裂した。

➡

**ご使用中止**

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずし必ず販売店にご相談ください。

# お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ
なお、転居されたり、贈り物で頂いたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

## 修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

（受付時間） 365 日 /9:00 ～ 19:00

## 商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL 0120-3121-19
FAX 0120-3121-34

（受付時間） 9:00 ～ 17:30/ 携帯電話、PHS からもご利用できます。（日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。）

●本窓口等で取得致しましたお客様の個人情報は、お客様のご相談及びサポート等への対応を目的として利用し、適切に管理します。
●お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確に回答するために通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
●ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
**※弊社の「個人情報保護に関して」は、下記をご参照下さい。**
URL http://www.hitachi-ce.co.jp/privacy/index.html

**商標について：**

- Microsoft® および Internet explorer®、Windows®、Windows Vista® は、米国またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。
- VESA および DDC (DDC/CI)、EDID (E-EDID) は Video Electronics Standards Association の商標です。
- Mac® は Apple Inc. の登録商標です。
- Adobe® および Acrobat®、Reader® は Adobe System Incorporated の登録商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ及び High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の米国およびその他の国における商標又は登録商標です。
- Blu-ray Disc は商標です。

PRINTED WITH SOY INK™

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆インクを使用しています。
この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

**日立コンシューマエレクトロニクス株式会社**
**ソリューションビジネス事業部**
〒 244-0817 神奈川県横浜市戸塚区吉田町 292 番地

QR79512

Printed in Japan